



第70回 岐阜市身体障害者福祉大会

10月21日(土)に、第70回岐阜市身体障害者福祉大会を、ぎふ清流文化プラザ「長良川ホール」において、約170人の参加者のもと開催しました。

大会では、五十川会長、安田婦人の会会長のあいさつの後、柴橋岐阜市長、石井市議会議長ほか多くの来賓の方にご祝辞をいただきました。

続いて、協会長表彰では、多年にわたり福祉援護の向上に寄与された方9人に援護功労表彰(代表:松岡武さん)、障害を克服し自立更生された方2人に自立更生表彰(代表:山中克巳さん)、優秀分会3分会(代表:長良東分会)、金婚のお祝い6組(代表:田宮勢津子さんご夫妻)の表彰が行われ、表彰状を受け取ると、温かい拍手に包まれました。

その後、議事に入り、2件の決議案と大会宣言案が提案され、いずれも、障害者福祉の向上・協会の組織の増強に対する強い決意を感じられ、満場の拍手をもって可決され終了しました。

大会運営のスタッフの皆さんありがとうございました。

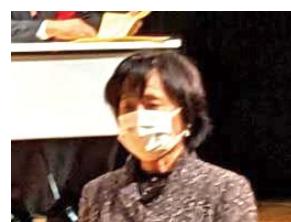
次回は、ホール満員のもとでの大会になることを願っています。



援護功労



自立更生



優秀分会



金婚慶祝

決議

一、事業者による障害者への合理的配慮の提供を促進すること

(提案者: 第4支部 村下 真規)

障害者差別解消法の一部改正により、来年4月から民間の事業者に対しては、障害のある人への差別

等をなくすための取組に協力するよう努めなければならないという努力義務から、改正され義務を課しています。また、岐阜市において、「障害のある人もない人もともに暮らせる岐阜市づくり条例」が昨年4月に施行されました。このことにより、障害のある人が暮らしやすい地域づくりに積極的に取り組み、障害の定義や禁止される差別を明確化し、障害のある人の権利を救済する実効的なシステムを構築する必要があると考えます。

障害のある人が、障害のない人と平等に暮らせる地域づくりを目指す基盤は、国ではなく、県、市町村であり、差別の解消に向けた取組みにつなげるためには障害の定義や禁止される差別を市町村において独自に定めることが必要な場合もあり、障害のある人の権利を救済するシステムは地域の実情にあった、より実効性のあるものにしなければなりません。

また、合理的配慮を欠くことが差別であり、事業主や一般市民に対し、禁止される行為をより明確にする必要があります。

全ての障害のある人の権利を救済する実効的なシステム構築を求め、事業者に周知徹底され、それが実施されることによりさらに障害差別の解消につながる。

一、障害者の自立と組織の強化を図ろう

(提案者：第8支部 一柳 正和)

これまでに施設のバリアフリー化や雇用促進、医療費助成などの障害に対するハード及びソフトとも充実してきました。

これは我々の先輩たちが当事者として一致団結して活動してきた成果であり大変喜ばしいことであり、先人たちのたゆまぬ努力と活動が現在の障害者施策です。

私たち障害者は当事者として自立し、活動していく必要がありますが、岐阜市身体障害者福祉協会は、会員の高齢化と減少が続いている。

私たち一人一人の障害者福祉に向けた活動は本当に小さな事かもしれません、組織として、継続して真摯に取り組んでいけば、やがて大きな成果につながっていくものです。組織強化には新たな障害者を私たちの会の仲間になってもらうことが必要です。

そのためには、役員のみならず、会員一人一人が行動しなければならない。その行動の一つとして、新規会員の入会を勧めなければならない。

宣 言

新型コロナウイルス感染症の影響等により社会経済が低迷するなか、本日ここに、第70回岐阜市身体障害者福祉大会を盛大に開催することができた。

岐阜市身体障害者福祉協会は、創設時、厳しい社会環境と対峙し、障害の有無に関わらずだれもが生きやすい社会を実現しようと、全国の障害者団体とともに連携し活動してきた。

いまだ、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せないが、障害者が孤独・孤立に陥らないためにも障害のある者の立場から障害及び障害者理解の一層の促進に向け、活動していくことが重要な使命である。

障害者差別解消法の一部改正により、「事業者による合理的配慮の提供の義務化」が民間企業に周知徹底され実施されることが肝要である。

そして近い将来、障害の有無にかかわらず、すべての人々が人権や尊厳を大切に、分け隔てなく共に豊かに幸せに支え合う共生社会の実現に向け、会員並びに他の障害者団体と連携し、一致団結して行動することを誓い、ここに宣言する。

令和5年10月21日

第70回岐阜市身体障害者福祉大会

岐阜市身体障害者福祉協会長表彰 おめでとうございます

福祉大会の席上で次の方が表彰されました。

(敬称略)

●援護功労表彰

山田 修吉 (岩野田)	田中 廣司 (長良)
岩前 勝彦 (鷺山)	堀 たか子 (長森南)
藤井 弥生 (日野)	藤田 宣子 (長森東)
濱田 満子 (藍川)	松岡 武 (厚見)
林 健一 (合渡)	

●自立更生表彰

山中 克巳 (長森南)	林 裕治 (長森北)
-------------	------------

●優秀分会表彰

長良東分会 (第1支部)	藍川分会 (第5支部)
日置江分会 (第6支部)	

●金婚表彰

南 和弘 (長良)	澤田 勝利 (長良東)
岡島 保男 (長良東)	田宮勢津子 (岩野田)
武藤 茂 (三輪南)	深尾 敏雄 (三輪南)

令和4年度（一財）岐阜市身体障害者福祉協会事業報告及び収支決算

令和4年度事業報告

令和4年度は、新型コロナウイルスの影響を受け、協会の主収益財源である自販機管理収益が落ち込み又コロナ禍対策等の状況を踏まえ、協会実施事業の中止・縮小を行いました。一方、コロナ禍で、役員を中心としての事業活動にも影響が生じ、新規会員確保も進まず、73名の会員減となりました。

1 会務の運営及び支部・分会総会の開催

(1) 会議の開催

理事会2回開催、評議員会1回開催、監事会1回開催、支部長会議4回開催、分会長会議2回開催

(2) 支部・分会数：9支部50分会

(3) 年度末会員数：1,320人

2 第69回岐阜市身体障害者福祉大会

10月23日(日)ぎふ清流文化プラザで開催

3 身体障害者スポーツ等振興事業

(1) 第22回全国障害者スポーツ大会参加選手 壮行会 10月21日(金)岐阜市役所で開催

(2) 第32回なかよし運動会

11月23日(水・祝日)ふれあいドームで開催

(3) 第27回岐阜市身体障害者マインドスポーツ大会 7月17日(日)市橋コミュニティーセンターで開催

4 福利厚生事業

(1) 会員研修旅行 中止

(2) 第24回鶴飼を見る会

9月22日(木)川北地域を対象に開催

5 広報啓発活動事業

(1) 12月6日～11日岐阜市障害者芸術祭 「オンラインわたしたちの芸術祭」に参画

(2) 機関紙「ぎふ身障だより」の2回発行

(3) 岐阜市身体障害者福祉援護のしおりの発行

(4) ホームページの運営

6 青少年部活動

ボウリング大会、ソフトボール大会、懇親会を開催

7 婦人の会活動 中止

8 8支部総会助成、2支部・24分会活動助成

9 岐阜市身体障害者相談員協議会から事務委託

10 岐阜市から障害者生活支援センター管理の受託事業（令和4～8年度）の実施

11 収益事業

- (1) 売店事業（ハートフルスクエアG内喫茶店委託）
- (2) 自動販売機設置事業 51施設 94台

令和4年度会計収支決算書

正味財産増減計算書

令和4年4月1日～令和5年3月31日 (単位:円)

科 目	令和4年度	令和3年度	増減額
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	60	300	△ 240
特定資産運用益	374	855	△ 481
会費収入	132,000	139,300	△ 7,300
事業収入	23,412,536	21,580,499	1,832,037
助成金収入	3,269,057	2,000,000	1,269,057
負担金収入	422,500	300,000	122,500
寄付金収入	0	0	0
雑収益	3,055	10,050	△ 6,995
経常収益計	27,239,582	24,031,004	3,208,578
(2) 経常費用			0
事業費	19,282,403	16,081,935	3,200,468
管理費	5,544,483	5,269,890	274,593
経常費用計	24,826,886	21,351,825	3,475,061
当期経常増減額	2,412,696	2,679,179	△ 266,483
2. 経常外増減の部			0
(1) 経常外収益	6,823,926	7,300,000	△ 476,074
(2) 経常外費用	6,824,066	7,309,000	△ 484,934
当期経常外増減額	△ 140	△ 9,000	8,860
当期一般正味財産増減額	2,412,556	2,670,179	△ 257,623
一般正味財産期首残高	27,238,617	24,568,438	2,670,179
一般正味財産期末残高	29,651,173	27,238,617	2,412,556
II 指定正味財産増減の部			0
基本財産運用益	51	255	△ 204
一般正味財産への振替額	△ 51	△ 255	204
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	3,000,000	3,000,000	0
指定正味財産期末残高	3,000,000	3,000,000	0
III 正味財産期末残高	32,651,173	30,238,617	2,412,556

貸借対照表

令和5年3月31日現在

(単位:円)

科 目	令和4年度	令和3年度	増減額
I 資産の部			
1. 流動資産	4,299,537	4,731,381	△ 431,844
2. 固定資産			0
(1) 基本財産	3,000,000	3,000,000	0
(2) 特定資産	25,566,365	23,046,928	2,519,437
固定資産合計	28,566,365	26,046,928	2,519,437
資産合計	32,865,902	30,778,309	2,087,593
II 負債の部			0
1. 流動負債	214,729	539,692	△ 324,963
負債合計	214,729	539,692	△ 324,963
III 正味財産の部			0
1. 指定正味財産	3,000,000	3,000,000	0
2. 一般正味財産	29,651,173	27,238,617	2,412,556
正味財産合計	32,651,173	30,238,617	2,412,556
負債及び正味財産合計	32,865,902	30,778,309	2,087,593

第25回 青壯年部ボウリング大会

6月25日(日)に、青壯年部ボウリング大会がマーサボウルにて開催されました。正式な大会としては4年ぶりの開催です、青壯年部主催の大会ですが、約20名の老若男女が集まり、五十川会長のストライクの始球式によって幕を開けました。

ストライクやスペアを取るとハイタッチをしたり歓声が上がったりして、終始楽しい雰囲気で、各自が2ゲームを全力でプレーしました。

ゲーム後は、参加者に持ち帰り用の弁当を配った後、閉会式を行いました。

若年層の方が上位に入らなかったのが残念です。来年の大会までに、ボウリング好きの若年層を誘い、今年以上に活気がある大会にしたいです。



相談員研修会

7月12日(水)第1回岐阜市身体障害者相談員研修会が岐阜市役所で開催されました。

研修会では、48名が

- ・障害年金について
 - ・岐阜市成年後見センターについて
 - ・障害福祉サービスと介護保険サービス
- について学びました。

第28回 マインドスポーツ大会

7月16日(日)に、マインドスポーツ大会が市橋コミュニティーセンターにて開催されました。

今年は、6種目を用意していましたが、カロムとチェスは実施しませんでした。

オセロには8人が集まりトーナメント戦(敗者復活、団体戦あり)となりましたが、囲碁と将棋は2人ずつ、麻雀も4人で1卓のみとなり、少し寂しい大会となりました。それでも、オセロでは32対32での引き分け再試合があったり、各種目とも、勝負の行方が最後まで分からぬ熱戦が続きました。

成績上位の方は以下の通りです。
おめでとうございます。

(敬称略)

●囲碁の部

優勝 松田 進(三輪南)
準優勝 岩田 達男(三輪南)

●将棋の部

優勝 南谷 孝志(木之本)
準優勝 井口 忠雄(西郷)

●オセロの部

優勝 武藤 明(京町)
準優勝 篠田 一成(長森南)
第三位 村瀬 浩祐(西郷)
団体戦 ①8支部 ②2支部 ③5支部

●麻雀の部

優勝 早矢仕光司(西郷)
準優勝 戸谷 久(日野)
第三位 平川 義雄(日野)

初出場で優勝などの好成績を挙げる方も多くいらっしゃいます。次回はぜひご参加ください。
出でよ新星!



会員研修旅行

8月20日(日)に会員研修旅行が行われ、Aグループ(川北地域)「夏の涼風を求めて・湯の山・御在所山頂」バス2台、Bグループ(川南地域)「トヨタ博物館見学と蒲郡メロン狩り」バス3台の2グループに分かれての会員研修旅行でした。

今回も車いすのまま乗車できるリフトバスを利用しました。車いすでの参加の方が多く、初めて参加され感激された方もお見えになりました。

一方で、反省すべきご意見も多々頂き、来年度の課題となりました。

第25回 鵜飼を見る会

9月20日（水）、日中は雨が降り開催を心配する電話が多く寄せられましたが、雨も上がり快適に鵜飼観覧ができました。

今回は、長良川以南の地域の方を対象に実施しました。



開催にあたり、参加者の自宅付近から鵜飼観覧船事務所（のりば）間の貸切バスにて送迎、トイレ付観覧船の配船、車いす利用者については、車いすのままでの乗船、歩行困難者については、鵜飼観覧船待合室から鵜飼観覧船間の車いす移動介助及び食事の提供（お茶付き鵜飼弁当）で実施しました。

参加者は76名で、その内車いすのままの乗船者は7名でした。

当日は、送迎バスの到着が遅れ心配しましたが、ボランティアさんや市障がい福祉課の職員の皆様の協力で、初めての鵜飼観覧への感激、日頃疎遠になりがちな会員相互の交流が、この事業を通して深められ、大きな励ましとともに自立への大きなきっかけとなることができたことは障害者にとって極めて有意義でした。

祝 岐阜市長表彰を受賞

10月23日（月）開催の第43回岐阜市民福祉大会において岐阜市長表彰状の贈呈があり、次の方が受賞されました。

おめでとうございます。

（敬称略）

●自立支援

小木曾章宏（長森南）
大森 浩二（長森北）



代表で表彰の小木曾章宏様

特別全国障害者スポーツ大会 岐阜市選手壮行会

10月13日（金）岐阜市役所において、10月28日から30日の3日間、鹿児島県で開催される「特別全国障害者スポーツ大会 燃ゆる感動かごしま大会」に出場する岐阜県選手団のうち、岐阜市選手に対し、日頃の練習の成果の発揮と大会における健闘を祈念し、激励のことばをおくり、激励金を贈呈しました。



速報 ⇒ ⇒

団体

●聴覚障害者等女子バレーボール
武藤友里菜 選手・上出 美華 選手
1回戦敗退

個人

●アーチェリーリカーブ30m	
聴覚障害者女子2部	
亀山智佐衣 選手	3位
●卓球(STT) 視覚障害者	
増井貴久美 選手	3位
●ボッチャ	
廣瀬 桂輔 選手	2位
栗原 桜 選手	2位

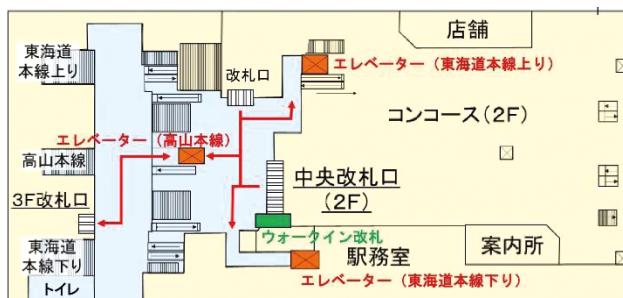
JR岐阜駅構内にエレベーター設置

JR岐阜駅はこれまで、改札外にエレベーターが設置されており、車いす利用者にはその都度、駅係員の案内が必要でした。

そこで、私たち岐阜市身体障害者福祉協会は、平成26年及び平成28年の岐阜市身体障害者福祉大会においてJR岐阜駅のエレベーター整備に関して決議し、設置への取り組みを行ってきました。

6月から東海道本線下りホームの1基が供用開始され、8月には高山本線、10月には東海道本線上りホームの計3基が供用開始されました。

また、高山本線ホームに通じるエレベーターを利用すると、隣接する商業施設に通じる3階改札口にも、段差なく移動できるようになりました。



ぎふ花火大会の招待

8月11日(金・祝)に岐阜市から「ぎふ長良川花火大会」の招待がありました。

岐阜特別支援学校、岐阜市身体障害者福祉協会、岐阜市聴覚障害者福祉協会、岐阜市重症心身障害児(者)を守る会、岐阜市肢体不自由児者父母の会、岐阜県医療的ケア児者の会ギフアイライン、岐阜市視覚障害者福祉協会、岐阜県自閉症協会岐阜市ブロック、岐阜地区知的障がい者育成会等が招待され、市役所17階、



同15階、防災・健康ステーションで花火を鑑賞しました。

障害者1名と介添え者2名の3名1組での招待で、当協会には3組9名の招待がありました。が、夏の暑さのせいもあり、負担を考慮して6名のみの参加にとどまりました。

感想では、室内で体温調節が出来良かった、駐車場の制限があり大変だった、音が聞こえなかったのが残念等々の声がありました。

来年度招待があれば、今年度参加しなかった支部を優先して案内していこうと思っています。楽しみにしていてください。



第30回 オンリーワンわたしたちの芸術祭への作品出品のお願い

- 作品部門：書、絵画、写真、手工芸など未発表作品を作品名、コメントを添えて11月末日までに協会事務局へ提出してください。
- 開催期間：12月5日(火)～10日(日)
- 開催場所 ハートフルスクエアG

第33回なかよし運動会を開催します

11月28日(火)午後2時から、岐阜メモリアルセンター「ふれ愛ドーム」において、第33回なかよし運動会(ワナゲ大会)を開催します。

参加者全員に参加賞、上位者に景品、抽選会にて景品を用意しております。

多数の参加をお待ちしています。

詳細は、別途配布されます開催案内をご覧ください。

青い鳥の葉書
ありがとうございます

20枚 小酒井義子様(芥見東)